

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザ改修事業				会計	款	項	目	大専	小専
					01	05	01	02	01	60
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり			主管課長	渋谷 俊之				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	施設利用者	意図	勤労者総合福祉センター・勤労者体育施設を充実させることにより、利用者の利便向上を図る。
事業内容	老朽化に伴うコミュニティプラザの計画的な改修整備を行い、利用者の利便向上を図る。 （平成29年度は、プール棟屋根雨漏り改修及びE S C Oデザインビルド型事業による空調及び照明等の改修）			
事業開始から現在までの状況変化	平成2年に勤労者総合福祉センター、平成3年に勤労者体育施設が雇用促進事業団との合築により開館、平成15年には雇用・能力開発機構（旧雇用促進事業団）から譲渡を受け、27年を経過し、各施設の老朽化による改修も平成18年度の屋根及び防水改修をはじめ、平成27年度のエレベーター改修を実施、平成29年度にはプール棟屋根雨漏り改修及びデザインビルド型E S C O事業による空調及び照明等の改修し、施設利用に必要な維持管理に努めている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設利用者	149300	153187	146717	人	↑↑↑	H28年度から延べ利用者数
②	施設の稼働率	87.20	80.70	80.30	%	↑↑↑	各部屋ごとの使用日数/開場日数の年間稼働率の平均	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成23年度まで、事業単位で基本計画へ位置づけ、改修を実施してきたところであるが、老朽化に伴う計画的な改修の必要性から本事業の中で一本化する。平成27年度は建築基準法に適合するため、エレベーターの全面改修を実施、平成29年度では、プール棟屋根雨漏り屋根を膜式屋根に変更し改修する他、デザインビルド型ESCO事業により、空調及び照明等の改修を行うこととしている。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,447,720		54,899,760				
事業費(b)(円)		15,661,080		53,463,580				
うち一般財源		15,661,080		53,463,580				
職員給与費(c)(円)		786,640		1,436,180				
人役・職員(人)		0.10		0.20				
人役・再任用(人)				0.03				
人役・臨職(人)		0.02		0.02				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	懸案事項であったプール棟屋根雨漏りを膜式屋根へ変更し、改修の実施。及びE S C O事業を活用し、空調及び照明等の改修を計画する。	③取組の課題	築25年を超えているため、施設各所に老朽化がみられる。
②今年度(H29)に実施した取組	・プール棟屋根改修においては、FM推進室のアドバイスのもと、プール棟屋根改修工事に加え、設計・監理業務、雨樋追加工事を業務委託。 ・E S C O事業実施した。	④今後(H30以降)の改善計画	想定する改修及び劣化する備品の更新について、優先度を見直し、後期基本計画に位置付し施設の維持に努めたい。